

日 汉 惯 用 语 谚 语 辞 典

陶元山 编



國防工業出版社

National Defense Industry Press

日汉惯用语谚语辞典

陶元山 编

国防工业出版社

· 北京 ·

图书在版编目(CIP)数据

日汉惯用语谚语辞典/陶元山编. —北京:国防工业出版社, 2007. 1

ISBN 7-118-03984-5

I. 日... II. 陶... III. ①日语—社会习惯语—词典—日、汉 ②日语—谚语—词典—日、汉
IV. H363-61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 064685 号

国防工业出版社出版发行

(北京市海淀区紫竹院南路23号, 邮政编码100044)

国防工业出版社印刷厂印刷

新华书店经售

开本 850 × 1168 1/32 印张 23 1/2 字数 818 千字

2007 年 1 月第 1 版第 1 次印刷 印数 1—5000 册 定价 75.00 元

(本书如有印装错误, 我社负责调换)

国防书店: (010) 68428422

发行邮购: (010) 68414474

发行传真: (010) 68411535

发行业务: (010) 68472764

前 言

世界上的任何语种在长期的发展过程中，都会形成其自身的特点，例如日语中惯用语和谚语的运用，就是其重要的语言特点之一。在日语文章或口语中经常使用惯用语和谚语，既显示了语言的丰富、生动、活泼、简洁、风趣，也更充分地表达了思想感情。

日语惯用语一般是由两个以上词组组成，而谚语则是用一个短语或句子来代表一个特定的寓意。在日汉语言文字交流中，如果把它们仅仅停留在单词的字面直译或理解，往往难以确切地表达出这一特定词组或句子的原意，特别是难以揭示其深刻的内在寓意，有时会闹出笑话，这也是日汉语言交流中存在的难点之一。例如：

てあら 手を洗い 不只是“洗手”还是“改邪归正”、“洗手不干”的意思。

はなげぬ 鼻毛を抜く 欺骗；钻空子。

ひげちりはら 髭の塵を払う 奉承；拍马。

ほそなが 細く長く 不是“细而长”而是“安分守己”、“兢兢业业”的意思。

ゆきうえしも 雪の上に霜 不是“雪上加霜”而是“白费事”、“于事无补”、“起不了什么作用”的意思。

あぶらう 油を売る 不是“卖油”而是“偷懒”、“泡蘑菇”的意思。

あぶら 油をかける 不是“浇油”而是“火上加油”、“煽动”的意思。

おはこ 十八番 并不是“第十八号”的意思，而是：专长、拿手好戏；老毛病；痼癖的意思。

从以上惯用语例中可以看出它是由两个或两个以上词组构成表达一个固定的比喻意义。

日本語谚语(俗语)中，如：

なんじ い なんじ かえ
爾に出ずるものは 爾に反る 不是“出尔反尔”而是“善有善报、恶有恶报”；“因果报应”的意思。

あこぎ うら ひ あみ
阿漕が浦に引く網 不是“阿漕在海湾拉网”而是“一而再、再而三”；“屡屡”的意思。

こ ま す
胡麻磨り 不是“磨芝麻油”，而是“拍马屁”的意思。

ひとり もんじゅ さんにな
一人の文殊より三人のたくらだ 三个臭皮匠顶个诸葛亮。该谚语多是在讲话中运用而在辞典中很难查到，多用“さんになよもんじゅのちえ”这里的“たくらだ”是“麝香猫”（笨蛋）的意思。

有的甚至把某地的方言也演变成了谚语，如：

え ど べらぼうに きょう だすえ
江戸べらぼうに京 だすえ 东京人说话常带“笨蛋(べらぼう、べらぼうめ、ばか、あほう)”的口头语，京都人常把“です”说成是“だすえ”的口头语。

おおさか
大阪さかいに え ど べらぼう
大阪人常带“さかい(因为)”的口头语，东京人常带“笨蛋(べらぼう)”的口头语。

ながさき
長崎ばってん え ど べらぼう
长崎人常带“因为(ばってん)”的口头语，东京人常带“笨蛋(べらぼう)”的口头语。

从以上谚语例中可以看出，这是用一个短语和句子表达一个固定的比喻意义。

为了帮助广大读者能准确地解读和掌握日语惯用语和谚语的寓意内涵，特编纂了这本《日汉惯用语谚语辞典》。

本辞典的一大特点是词条丰富、文字简练、释义准确。作者在潜心研究和编纂本辞典的过程中，曾先后查阅了多种国内外同类辞书。本辞

典共收录 15000 余条词组，与已出版的中外同类辞书相比较，词条数量至少多出一倍以上。

本辞典查阅方便、先按五十音图索引查找，如查不到时、再在“意思相同或相类”索引中按五十音图查找。

本辞典在编纂过程中，曾得到陶国红女士的大力支持；在出版过程中请程新民先生审阅了全书的日文部分。此外，还有许多关心和支持这本辞典出版的朋友们，在此向他们致以最真诚的谢意！希望这本《日汉惯用语谚语辞典》在日汉语言文字交流中，能为广大读者提供一点有益的帮助，那将是作者最大的欣慰。同时鉴于作者的水平所限，本辞典的编纂难免存在差错，敬请广大读者指正。

作 者

2004 年 10 月于北京

使用说明

一、词条

本辞典收录常用惯用语、谚语 15000 余条。

二、条目排列

按五十音图顺序排列。

三、释义

日语词条除个别外，大多不加以解释，为节省篇幅不引用例句。

释文①，②，③，……为寓意词解顺序。

四、符号

〔类〕为类义词；〔反〕为反义词；→ 为同义词。

五、先按五十音图顺序查找，如查不到请在书后的“意思相同或相类”索引中也按五十音图顺序查找。

目 录

五十音图

あ (1)	い (37)	う (68)	え (85)	お (91)
か (119)	き (153)	く (173)	け (191)	こ (199)
さ (228)	し (242)	す (281)	せ (291)	そ (306)
た (314)	ち (336)	つ (346)	て (355)	と (370)
な (392)	に (408)	ぬ (418)	ね (422)	の (430)
は (435)	ひ (462)	ふ (491)	へ (502)	ほ (507)
ま (516)	み (524)	む (539)	め (547)	も (557)
や (565)		ゆ (578)		よ (584)
ら (595)	り (597)	る (602)	れ (603)	ろ (604)
わ (607)				

あ

ああ言えばこう言う ①頂嘴。②你说东，他说西。③强词夺理。④故意唱反调；抬杠。

〔类〕①どういやこう言う。②右と言えば左。③山と言えば川。

合縁奇縁 人和人之间是由缘分而结合的；千里姻缘一线牵。

〔类〕①縁は異なるもの。②何時も縁。③虫が好く。④合愛奇縁。⑤袖振り合うも他生の縁。⑥つまづく石も縁の端。

愛多き者は即ち法立たず 愛多則法不应（出自韩非子语）。

愛多ければ憎も亦多し 爱越多则恨亦越多。

〔类〕①愛は増の始まり。②可愛さあまって憎さ百倍。

愛多ければ憎しみに至る 受人爱得越深就越被他人嫉妒、被他人憎恨。

〔类〕徳は怨みのもと。

愛屋烏に及ぶ 爱屋及乌

あいが遠なりや契が薄い 人一走茶就凉。

愛嬌がある ①可爱；有魅力。②和蔼可亲。

愛嬌が零れる 笑容可掬；可爱；有魅力；会说话；会应酬；和蔼可亲。

愛嬌がない 态度冷淡；不客气。

愛敬付き合い（在商业上或奉承对方时）表面上的应酬。

〔类〕①商売付き合い。②義理の顔出し。

愛敬を振りまく 笑脸相迎；和颜悦色。

七首に錨 ①不相称；不均衡。②谈不来；合不来。原意是指本来没有护手的七首，若再配上护手就相得不相称了。

〔类〕①小刀に錨。②小刀に金つばを打ったよう。

愛犬に手を噛まれる 恩将仇报。

〔类〕①飼犬に手を噛まれる。②飼犬に足を食われる。

合言葉にする 以……为行动口号。

愛慕井目 以下围棋来比喻人的聪明程度是千差万别的；人和人不一样。

〔类〕①世はさまざま。②上には上。

③下には下。

挨拶に立つ 致辞。

挨拶は時の氏神 吵架时的救星；吵架时的调解人。

〔类〕①仲裁は時の氏神。②仲人は時のとつての氏神。③地獄で仏。

挨拶より円礼 虚礼不如实利；嘴甜不如金钱。

愛してその醜を忘れる 情人眼里

出西施。

〔类〕①あばたも笑くぼ。②惚れた欲目。③恋は盲目。④恋すれば色の文目もわきまえず。⑤愛して見れば鼻欠けもえくぼ。

愛する人に物を貸すな 不要把钱借给你的亲朋好友；借时是朋友，讨债时是仇人。

愛憎が紙一重 爱和憎只有毫厘之差；对人要保持一定的距离，不要太亲近，否则以后将是恨的根源。

愛想が尽きる ①厌烦。②嫌弃。③不搭理。

〔类〕①愛想づかし。②愛想も小想も尽き果てる。

相対事はこちや知らぬ 当事者所处理的事与我第三者没有关系(这是第三者推脱责任时说的话)。

逢いたが情、見たいが病 (按捺不住想见情人时的心情)一日不见如三秋兮。

〔类〕①一日逢わねば千秋。②逢いたい見たいさは恋のとが。③逢いたいわいの見たいわいのせくわいの。

間が遠なりや笑が薄い 人一走茶就凉。

開いた口が塞がらない 吓得目瞪口呆；瞠目结舌。

〔类〕①呆氣に取られる。②口が塞がらぬ。

開いた口には戸はたたぬ 别人的嘴是封不住的；不管自己做的是好事

还是坏事，被他人议论也无法可想。

〔类〕①下種の口には戸は立てられぬ。②下臍は口さがないもの。

開いた口へ牡丹餅 ①天上掉下馅饼来。②福自天降。③运气好。

〔类〕①棚から牡丹餅。②寝ていて餅。③大鴨が葱をもって舞いこむ。

④あんころ餅ご尻をたたかれるよう。⑤あいた口へ餅。⑥あいた口くり餅の飛込んだうまい首尾。⑦寝耳へ小判。

間に立つ 斡旋于两者之间。

〔类〕間に入る。

相槌を打つ 随声附合；帮腔；点头称是。

〔类〕調子を合わせる。

相手変れど主変らず 客变主不变；换汤不换药。

相手のさする功名 用不正当手段取得的功名。

相手の無い喧嘩はできぬ 一个人吵不起架来；一个巴掌拍不响。

〔类〕①相手なければ訴訟ない。②氣遣いも一人は狂わぬ。③一人は喧嘩はならぬ。④喧嘩ともっては一人じゃできない。⑤氣遣いもただは怒らぬ。

相手見てからの喧嘩声 虚张声势。相盗人 一丘之貉。

〔类〕同じ穴の貉。

愛の楔 子女是爱情的保证；子女是婚姻的保证。

合の手を入れる ①喝采；叫好。②
 插言。

【类】合の手を挟む。

あいの返事に難はなし 順者无灾。

愛の鞭 出于关怀而采取的严厉手段；打是亲，骂是爱。

愛は小出しにせよ 过于热情的爱不会长久。

【类】①熱しやすく冷やすく。②どうか惚れのどか飽き。

愛は憎惡の始め 爱是憎惡之始；告诫人们一开始接触不要太亲近，应保持一定的距离。

【类】①愛は憎の始めなり、徳は怨の本なり。②愛多ければ憎はまた多し。③愛憎は紙一重。④可愛さあまって憎さ百倍。

相惚れ自惚れ片惚れ岡惚れ 爱有互爱、自爱、一相情愿和单相思。

合間を縫う 抽空；见缝插针。

逢戻りは鴉の味 恋爱男女分手后再和好时，其情比以前更浓；重温旧情。

藍より青し 青出于蓝而胜于蓝。

【类】藍より出でて藍より青し。

逢う時は笠をぬげ 遇到熟人要摘下斗笠；遇到机会要抓住。

逢うは別れの始め 相逢是分别的开始；合久必分；相逢必有离别时。

【类】①逢うは別れのもと。②逢うは別れ。③合わせものは離れ物。

阿吽の呼吸 双方的心情一致。

敢て主とならずして客となる 不敢做主人就得做客人；如果不采取积极的行动将会处于被动。

【类】①兵を用うるに言あり、われ敢て主とならずして客となる。②敢て寸を進まずして尺を退く。

逢えば五厘の損がゆく 碰到熟人要花费；尤其有来访客人时又费时又费钱。

【类】①触り三百。②触らぬ神に祟りなし。

青息吐息 长吁短叹；垂头丧气。

【类】①青菜を湯につけたよう。②青菜に塩。

仰いで唾を吐く 仰天而唾；自作自受；害人害己。

【类】①天に唾す。②天に仰いで唾する。

仰いで天に愧じず 仰天无愧。

【类】俯仰天地に愧じず。

青柿が熟柿 吊う 五十歩笑百歩；半斤八两。

【类】①うみ柿が熟柿を吊う。②昨日は人の上今日は我が上。③目糞が鼻糞を笑う。④猿の尻笑う。⑤五十歩百歩を笑う。

青くなる 脸色苍白。

青筋を立てる (气得)青筋暴出。

【类】青筋を張る。

青田から飯になるまで水がげん 稻田因水不同而产量不同，饭因水量不同而味道不同。

青^{あお}たたみを敷^しいたよう 如同大海风
平浪静时；形容非常平整。

青^{あお}田ほめれば馬鹿^{ばか}ほめれ 来成熟的
稻子丰收与否还不可靠，聪明的孩
子长大是否成才还不知道。

〔类〕子供^{こども}と青田^{あおた}はほめられぬ。

青天^{あおてんじょう}井 ①户外。②物价漫无止境地
上升。

青^{あお}菜に塩^{しお} 像青菜被霜打了似的；无
精打采；垂头丧气。

青^{あお}菜は男^{おとこ}に見^みせな 刚买回来的青
菜不叫男人看见；因男人不经常做
饭，不知青菜加热后会缩水变少而
引起不必要的怀疑。比喻在搞人事
和社会活动中该保密的应保密，以
免引起不必要的猜疑。

青^{あお}菜を湯^ゆにつけたよう 如青菜被开
水烫了似的；无精打采；垂头丧气。

青^{あお}菜の花^{はな} 在绿叶中迟开的梅花(形
容夏天景色用语)。

〔类〕余花^{よか}。

青^{あお}は藍^{あい}より出^いでて藍^{あい}より青^{あお}し 青出
于蓝而胜于蓝。

青^{あお}菜は目^めの薬^{くすり} 在看书太累时看看
远方的绿叶就会消除眼睛的疲劳。

青^{あお}表紙^{びょうし}を叩^{たた}いた者^{もの}にはかなわぬ
胜不过读书人。

〔类〕青表紙^{あおびょうし}は経書^{けいしょ}。

煽^{あお}りを食^くう 遭受……影响；遭受……
打击。

赤^{あか}い着^き物^{もの}を着^きる 坐牢；入狱。

赤^{あか}犬^{いぬ}がきつねを追^おう 红狗追狐狸——

难以分辨。

赤^{あか}いは酒^{さけ}の咎^{とが} 脸红是酒之过；与己
无关。

垢^{あか}が抜^ぬける 变得时髦。

足^あ掻^がきが取^とれない 一筹莫展；进退
维谷。

〔类〕足掻^あきがつかぬ。

あかぎれ大^{だい}将^{しやう} ひび大^{だい}将^{しやう} 皴裂是疏
于预防。

赤^{あか}くなる 面红耳赤。

赤^{あか}子^この中^{うち}は七^な国^{こく}七^{しち}里^りの者^{もの}に似^にる。嬰
儿相貌特征尚未形成，说像谁就像
谁，所以人们不可信口开河说像哪
个。

赤^{あか}子^この手^てを捻^{ひね}る ①轻而易举。②力
量相差悬殊。

〔类〕赤子^{あかこ}の腕^{うで}を捻^{ひね}る。

赤^{あか}子^こと搗^こきかけの餅^{もち}は手^て荒^{あら}いがよい
婴儿用手乱捣饼是好事，因婴儿不
可能做其它事，只能以此来锻炼。

赤^{あか}子は泣^なき泣^なき育^{そだ}つ 婴儿哭着哭着
就长大了；婴儿的哭只是锻炼身体
的一种形式，所以婴儿是在哭声中
长大的。

〔类〕泣^なく子は育^{そだ}つ。

赤^{あか}子を裸^{はだか}にしたよう ①如赤裸的
婴儿无人过问一样。②不能自力而
又无人帮助。

証^{あかし}を立てる 证明清白无辜。

〔类〕①証^{あかし}が立つ。②明^あかりが立つ。
赤^{あかしん}信号^{ごう}が付^つく 出现危机；出现紧急
情况。

あかづの間 ①不准打开的房间。②

封锁不吉利的事情。

【类】あかづの間。

あかつき しゆくも ききゆう ち おおかぜ
暁の白雲が急に散れば大風 拂
晓时白云突然散开会刮大风。

上がった 完蛋；垮台；糟糕。

【类】お手上げ。

あがって さんだい 下がって さんだい 亲戚是
从上三代到下三代，其他就同路人
一样。

あかめ 仲 非常亲密的关系(常指夫
妻和情人之间)。

あかの死んだものは ①没有因身上
的污垢而死的人。②不愿洗澡人的
自我辩词。③讥讽不喜欢洗澡人的
用语。

【类】垢に食われても死にはせぬ。

あかの他人 陌路人。

【类】①無縁的人。②路傍的人。

あか ぐす ほじで さが ほじで
垢は擦る程出るあらは探す程出る
找缺点就像搓污垢一样，污垢越搓
越多，缺点越找越多。

【类】叩けば埃が出る。

あか けい か
赤恥を掻く 出洋相；丢人；当众出
丑。

あが ぼとけとうと
吾が仏尊し 敝帚自珍；自以为是。

あか も みのうち 污垢也是身体的一部
分(这是嘲弄一丝不苟洗澡人的用
语)。

あがり口が高い 门坎高(指一而再、
再而三做出对不起人家的事后，不
好意思去对方家里)。

【类】敷居が高い。

あか たち
明りが立つ 证明清白无辜。

あか かねたま
明るい家には金溜らず ①明亮的房
子留不住财。②不必将房子装修得
太豪华，应俭朴地过日子。

あか つしよ おも
明るけりや月夜だと思ふ ①只要是
明亮就以为是月夜。②想法肤浅。

③死心眼；一条道跑到黑。

【类】①馬鹿の一つ覚え。②小豆飯
を炊けば初午とみる。

あか ちと もと
垢を洗って痕を求む ①吹毛求疵。

②做多余事而引起麻烦。

【类】①毛を吹いて疵を求む。②藪
をつついて蛇を出す。

あか め
垢を脱ぐ 洗清污名，证明清白。

【类】証を立てる。

あき あれ はんさく
秋荒半作 秋天暴风雨一来，稻米收
成就会减半。

【类】①秋日より半作。②秋上げ半
作。

あきうと びやうぶ すぐ た
商賈と屏風は直に立たぬ 无商不
奸。商人和屏风一样都不能拉直，
一拉直屏风就会倒下去，用屏风来
形容商人狡猾、转弯抹角地赚钱。

飽きが来る 厌烦；够了。

あきかぜ
秋風が立つ 指男女之间的感情冷淡
下去了。在日文中“秋”和“飽き”
是同音，而“飽き”在日文中又是
厌烦或够了的意思。

【类】①秋風が吹く。②熱が冷める。

あきかぜ ふうふん か
秋風と夫婦喧嘩は日が入りや止む
天一黑，秋风和夫妇吵架都会停止。

[类] 夫婦喧嘩と北風は夜風がする。
秋財布に春袋 秋天做钱包不吉利，
春天做钱包吉利。日文中“秋”和
“空”同音、“春”和“張る”同
音，所以秋天做的钱包总是空的，
春天做的钱包总是鼓鼓的。

[类] 天地を袋に縫う。
秋鯖嫁に食わすな 秋天的青花鱼特
别好吃，这是出自婆婆虐待媳妇的
俗语。

[类] ①秋なすびは嫁に食わすな。
②秋梭魚は嫁に食わすな。③五月
蕨は嫁に食わすな。④秋露嫁に食
わすな。

秋鯖の刺身にあたると薬がない
吃了不新鲜的青花鱼生鱼片没药治
(告诫人们在吃秋青花鱼生鱼片时
必须要注意新鲜程度)。

秋澄む 秋高气爽。

[类] ①秋うらら。②秋涼し。③秋
高し。

秋高く馬肥ゆ 秋高马肥。

秋柴嫁に焚かせろ 秋天的柴禾让媳
妇烧；秋天的柴禾不好烧。

[类] ①夏の火は嫁に焚かせろ冬の
火は娘に焚かせろ。②夏肥は嫁に
もかがせるな。

飽き足りない 不满足；不满意。

空樽は音高し 空桶音高；叫得响的
肚子里没有货。

[类] ①浅瀬に仇浪。②食いつく犬
は吠えつかぬ。③瘦せ犬は吠える。

秋蒲公英の咲く年は雪が浅い 如
果蒲公英在秋天开花，这年冬天的
雪不会下得多。

商い三年 做生意没有三年建不起
基础。

[类] ①石の上にも三年。②売り出
し三年。③顛振り三年。

商い上手の仕入れ下手 ①会卖不
会买，不会赚钱。②一个人不可能
什么都会做。

商いは牛の漣 做生意要有耐性，
想一口吃个胖子注定要失败。

商いは門門 做生意要有窍门(看到
客人来要把所有的商品介绍给客
人；而在买东西时，应到专卖店才
比较可靠)。

[类] ①商売は門門。②餅は餅屋。
③商売は道によって賢し。④芸
は道によって賢し。

商いは正直が第一 做生意以诚信
放在首位。

商いは古いがよい 商店越老越有
信用。

商いは本にあり 做买卖在于本
钱；无本难求利。

商う物は草の種 商品种类非常多。
秋茄子嫁に食わすな ①秋天的茄子

非常好吃(这是婆婆虐待媳妇衍生
出来的俗语)。

②秋茄子含生物碱
多，会引起流产，不能让媳妇吃。
秋になればほいと腹になる 一到秋
天食欲就增加。

〔类〕①秋のかわきは人につく。②

秋の腹さ餓鬼はいつてる。

秋の雨が降れば猫の顔が三尺になる 随秋雨而来的南方暖流使气温上升，怕冷的猫高兴。

〔类〕冬の雨が降れば猫の顔が三尺のびる。

秋の鰻魚と娘の粗は見えぬ 往往看不到年轻姑娘的缺点。

〔注〕“鰻鱼”与“粗”在日文中是同音字；鰻鱼秋天栖于海底的岩洞内，所以看不到，到冬天才出来。

秋の入り日と年寄は落ち目が早くなる 上了年纪后，衰老如同秋季到冬季的落日一样，一天天地加快。

〔类〕秋の入り日と年寄はだんだん落ち目が早くなる。

秋の扇 ①秋后之扇。②不合时宜；过时的东西。③色衰之女。④被男人抛弃的女人或被女人抛弃的男人。

秋の鹿は笛に寄る 秋鹿近笛；①好色之男易丧身。②利用对方的弱点而灭之。

〔类〕①笛による鹿。②火に寄る虫。

③秋の鹿は笛に心を乱す。

秋の空は七度半変わる ①秋天的天气多变。②人心多变。

〔类〕秋の空。

秋の日と娘の子は呉れぬようで呉れる 秋天的太阳看起来很明朗，但说落就急剧地落下去了；女孩大

了看起来不想嫁，但说嫁就嫁出去了。

〔反〕春の日と継母は呉れそうで呉れぬ。

秋の日は釣瓶落とし 秋阳如果桶，转眼落西山；秋天的太阳落得快。

〔类〕①吊瓶落しの秋の日。②秋の日の鈍落し。③光陰矢の如し。

秋の夕焼け鎌をとげ秋の朝照り 鄰へ行くな 因秋天的晚霞是晴天的预兆，所以磨镰刀等待第二天下地干活；早晨有太阳要下雨，不要到邻居家拜访。

〔类〕秋の夕焼鎌磨いで待つて、五月の夕焼養着て待つて。

秋葉山から火事 消防者自家起火；后院起火；自找的灾祸。

秋早く熊が里に出ると大雪 秋天熊一大早就到村里找东西吃，意味着这年冬天有大雪。

秋は山から春は海から 秋天山里先放晴，春天海边先放晴。旅游秋天应去山区，春天则去海边。

〔类〕秋山春海。

秋彼岸の照りは豊年 秋分若是好天气，这年就是丰收年。

秋日に照らせりや犬も食わぬ 被秋日晒后皮肤会变得特别黑，女孩不但没有回头率，甚至连狗都不会理；秋阳特别毒。

秋日和半作 秋天的气候好坏决定收成的一半。

〔类〕秋荒れ半作。

餓きも飽かれもせず 如胶似漆。

空物は容物 空物容物；空物可用来

装东西。

空家で声嚷らず ①一个人在空房里

唱歌无人欣赏。②徒劳无功。

〔类〕①明家で棒振る。②縁の下の力持ち。③縁の下の舞。④茶屋で声からす。

明家の雪隠でこえなし 空房子的厕所没有“肥料”；这是在拜访他人家时，在门外无论怎么叫里面没有应答时所说的俏皮话。这里“声”和“肥”是同音字。

秋山春海 秋天山里先放晴，春天海边先放晴；秋天应去山里旅游，春天应去海边。

諦めは心の養生 后悔于事无补，心宽才能体胖。

呆れが礼にくる 吓得目瞪口呆。

〔类〕①開いた口がふさがらぬ。②くそがあきれる。③呆れかえるの煩冠。④呆れが股引きで礼に来る。

商人と屏風は直に立たぬ 无商不奸。

商人に系図なし 商人不靠家世，只靠手腕和努力。

商人の虚言は神も御許し 商人的谎言连神都会原谅。

商人の売り先、買い先は父母兄弟の如し 对于商人来说，尊重客户应当像尊重其父母一样。

商人の子は算盤の音で目をさます

商人的儿子听到算盘声就会醒来；受环境影响习惯成自然。

〔类〕①武士はくつわの音で目をさます。②乞食の子は茶碗の音で目をさます。

商人の空誓文 商人嘴里无真话。

商人の空値 商人对客户说的进价都是假话。

〔类〕商人の元値。

商人は金に頭を下げる 商人见钱眼开。

〔类〕一文高の世の中。

商人は木の葉も錦に飾る 商人会把很差的商品包装得很漂亮卖给客人。

商人は損していつか倉が建つ 商人总是对客户说亏本卖货，实际上是赚钱的。

商人は腹を売り、客は下より遣う 商人卖货时，总是先喊高价再慢慢降低；客人则相反；做买卖。

商人は矢の下くぐれ 商人为了赚钱不得不冒风险。

悪因悪果 恶有恶报。

〔类〕①悪の報いは針の先。②猪食った報い。

悪縁契深し 孽缘难离。

〔类〕①悪女の深情。②くされ縁はなれず。

悪貨は良貨を駆逐す 劣货挤良货。灰汁が強い ①粗俗。②个性强；太

偏。

灰汁が抜ける ①文雅。②靈活。③

随和。

悪妻は百年の不作 取个恶婆穷一生。

〔类〕①悪妻は一生の不作。②悪妻はまさる不幸なし。③悪妻は六十年の不作。④女房の悪いは六十年の不作。

悪事は千里を走る 好事不出門、坏事传千里。

悪事身にかえる 惡有惡報；自作自受；咎由自取。

〔类〕①悪事身にとまる。②身から出た錆。③人生を呪わず穴二つ。

④天に唾す。

悪獣も猶その類を思ふ 猛兽之間也有亲情；虎毒不食子。

悪性の氣よし 酒色之徒反而比一般人待人要和氣得多。

悪女の深情け ①（美女薄情）丑妇多情令人为难。②丑婆娘送秋波消受不起。

悪女は鏡を疎む 丑妇怕照镜子；谁都不喜欢提到自己的缺点和短处。

〔类〕悪女は鏡を恐れる。

悪心は降る雨 坏点子层出不穷。

アクセントを置く 强调；作为重点。悪銭身に付かず 不义之财无久享；财悖入则悖出。

〔类〕①あぶく銭は身に付かぬ。②不義の富貴は浮雲の如し。③貨悖

りて入るものはまた悖りて出ず。

④人垢は身に付かぬ。⑤盗人は盗みによつては金持になれない。⑥不当に得られた物は不当に費やされた。

悪態をつく 骂街；说人坏话。

口頭痛も切れぬ若者 乳牙未退的孩子。

悪天候を売る 眼看气候不好、丰收会有问题，看到买家多就乘机抬高米价卖出。

悪に強ければ善にも強い 浪子回头金不换；改邪归正。

〔类〕①悪に強きは善の種。②悪に強き者はまた善に強い。

悪に走る 变坏。

悪人あれば善人も顯れる 有坏人才显出好人。

〔类〕①下手があるので上手が知れる。②馬鹿があつて利口が引き立つ。

悪人には友多し 坏人的朋友多。

悪人は刀の試し物 坏人是试刀的料。

悪人は量の上では死なれぬ 坏人不得善终。

悪の裏は善 善恶互为表里；坏事后面是好事，好事后面是坏事。

〔类〕①一の裏は六。②いいことがあれば悪い事がある。③善の裏は悪。

悪の報いは先 惡有惡報。